

熱海市危機管理課（熱海市）

ホテル避難所での 避難者同士のコミュニティづくり

組織概要

- 令和3年7月、熱海市伊豆山土石流災害においてホテル避難所を開設。

きっかけ・課題

- 一般的に避難所は避難者同士の自治により運営されるが、伊豆山土石流災害ではホテルを活用した避難所運営となったため、個室による生活により、避難者同士のコミュニティの形成が難しい状態であった。
- 被災者支援コーディネーターから避難者同士のコミュニティづくりを後押しする取組の一つとして「女性だけの座談会」の開催が提案され、ホテル避難所内で開催した。

取組概要

- 被災者支援コーディネーターや市の女性職員を交え、LINE交換や避難生活における困りごとなどを避難者同士で語り合う場を設定
- 女性限定の情報交換会&支援物資配布会を開催。
- 情報交換会では、LINEグループが作られるなどコミュニティ形成に寄与。
- 支援物資配布では、ホテル避難所全体の支援物資コーナーでは取りづらい、女性用の衣類・下着類、生理用品、衛生用品などを配布

ポイント！

- 市の女性職員も情報交換の場に入り、情報を得ることで、些細な内容にもすぐに対応することができた。
- ホテル避難所閉鎖後も、被災者同士のコミュニケーションが取れている。
- 被災者支援コーディネーターは第三者的立場で被災者、行政側との橋渡し役を担っていただき、大変感謝している。



情報交換会 & 支援物資配布会の様子

団体連絡先

・熱海市危機管理課 0557-86-6298